



# 林 声

2024

9 月号



県内の新しい林業の取組を紹介する「新しい林業・おかやま」。  
今回は、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センターが試験的に植栽したコウヨウザン(手前側)の生育調査について紹介します。  
(詳細はP 2 に記載)

## 目 次

|                          |    |                         |    |
|--------------------------|----|-------------------------|----|
| 新しい林業・おかやま(東備普及指導区)..... | 2  | 林産物市況 .....             | 11 |
| がんばる認定事業体                |    | 「おかやま森づくり県民税」           |    |
| (フォレストフジモト(同)) .....     | 3  | 3つの柱について② .....         | 11 |
| 普及指導区の情報(岡山普及指導区) .....  | 4  | 森林・林業施設の紹介(新庄村役場) ..... | 14 |
| 林業労働安全の啓発 .....          | 5  |                         |    |
| 林業普及指導員等中央研修 .....       | 6  |                         |    |
| 針広混交林への誘導に向けて .....      | 6  |                         |    |
| 瀬戸内海国立公園指定90周年を迎えて ..... | 7  |                         |    |
| 開発地巡視管理システムの紹介 .....     | 7  |                         |    |
| 岡山県職員(林業職)自己紹介 .....     | 8  |                         |    |
| 岡山県林業研究グループ交換研修大会 .....  | 9  |                         |    |
| 技能講習等情報 .....            | 10 |                         |    |

### 【ほっけ〜木になる情報】

Q. 直交集成板(CLT)は、近年では民間も含め、多くの建物で使用されていますが、建築以外では使用していないの？  
(答は13ページ)



©岡山県マスコット「ももっち・うらっち」





## 一 はじめに

森林・林業基本計画（令和3年6月15日閣議決定）では、従来の施業等を見直し、エリートツリーや遠隔操作・自動化機械の導入等、新技術の活用により、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」に向けた取組を推進することとしています。

そのような中、短期間で成長して早期の収穫が期待できる早生樹が注目されております。

今回は、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター中国四国整備局（以下、「整備局」という。）が備前市吉永町今崎地内に早生樹であるコウヨウザンを平成28年4月に試験的に植栽し、生長量（樹高、根元径）調査を6年生まで行ったということで、その概要を現地で取材しました。

## 二 コウヨウザンとは

コウヨウザンは、中国や台湾に

分布するヒノキ科コウヨウザン属の常緑針葉樹で、江戸時代には日本でも植えられていたといわれています。特徴としては、成長が早いこと、萌芽が旺盛であることなどがあげられます。これらのことから、下刈回数削減や、主伐後の再造林費用の削減が期待できます。中国では建築材、内装材、合板、家具材等に広く利用されております。



コウヨウザン

## 三 植栽地の概要

植栽地は、兵庫県境に接している岡山県東部の標高240から260㍎の範囲で、山津田区（土地所有者）、整備局（費用負担者）、美作東備森林組合（造林

者）との三者契約による分収造林地です。契約面積約23㍎のうちコウヨウザンの植栽面積は約1㍎で、植栽本数は1㍎当たり2,7千本です。コウヨウザン以外にもスギ、ヒノキを植栽しています。

## 四 調査結果

6年生の尾根部と谷部におけるコウヨウザンの根元径と樹高を比較すると、根元径は谷部が平均70ミリ（最小16ミリ、最大108ミリ）、尾根部が平均29ミリ（最小8ミリ、最大69ミリ）、樹高は谷部が平均3.7㍎（最小1.3㍎、最大6.0㍎）、尾根部が平均1.4㍎（最小0.4㍎、最大2.9㍎）で、ともに谷部の方が大きくなっています。

また、下刈りに尖った葉が体に当たり、下刈りが大変だったとの声が聞かれ、下刈りが行いやすい植栽間隔がいいのではといった意見がありました。

## 五 今後の取組

植栽時点から継続的に行ってきた生長量調査は令和3年12月に終了しましたが、今後は10年生、20年生と10年おきに生長量調査を行い、材質形質（根曲がり・幹曲が

り）や各種被害（気象害、虫害、病害等）についての確認も行っていくたい、とのことでした。

## 六 最後に

コウヨウザンを含む早生樹は成長が早く、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能にする新たな造林樹種になり得る可能性があることから、当普及指導区では、早生樹に関する情報収集に努めていきたいと思っています。

最後になりましたが、大変お忙しい中、現地での取材等、快く応じてくださいました整備局及び美作東備森林組合の方にお礼申し上げます。（東備普及指導区 野崎 晋也）



コウヨウザン（樹高約6m）

## がんばる認定事業体 フォレストフジモト(同) の紹介

【津山普及指導区】

### 一 はじめに

フォレストフジモト(同)は、令和4年に設立された新進気鋭の認定事業体で、民有林および国有林での素材生産を中心に業務を行っています。今回は、32歳の若き代表社員、藤本直也氏にお話を伺いました。



藤本直也氏

### 二 会社の概要

フォレストフジモト(同)は、令和4年6月1日に藤本氏が設立した会社です。設立から日が浅いものの、素材生産量で県北ナンバー1を目指すべく、日々奮闘して

います。藤本氏は、設立当初から従業員が楽しく仕事ができる環境づくりに力を入れ、会社全体での成長を目指しています。



造材作業(国有林)

### 三 現在の状況

現在の組織構成は、役員1名、現場作業員5名で運営されています。現場作業員の年齢構成は20代が1名、30代が3名、60代が1名と、若手からベテランまで幅広い年齢層が揃っています。また、今年新たに20代の若者2名の採用を予定しており、さらなる会社の成長と発展が期待されています。

作業システムとしては、フェラーバンチャーザウルスによる路網作設、チェンソーによる伐倒、グリップルによる木寄せ、プロセッ

サによる造材、グリップルによる積み込み、フォワーダによる搬出という流れで行っています。

### 四 職場環境

フォレストフジモト(同)では、従業員の働きやすさを重視し、有給休暇の積極的な取得を奨励するとともに、家族手当の支給など充実した福利厚生を提供しています。社員同士の交流も盛んで、社員一人一人が楽しく働ける環境が整っています。



集合写真

### 五 林業の魅力

林業には多くの魅力があると藤本氏は語っています。作業により日々現場の景色が変わる新鮮さを味わう事ができ、向き合う木にも

1本1本に違いがあり、毎日が新しい挑戦となります。そして、現場ごとの特性に応じてその都度工夫を凝らして仕事に取り組むことができることに大きなやりがいを感じられると語られました。こうした変化に富んだ環境で働くことが、林業の大きな魅力の一つです。

### 六 今後の目標

藤本氏は、岡山県内の広範囲に事業を展開しつつ、今後も現場の規模を拡大していくことを目指しています。現場の仕上がりについては従業員一人一人が丁寧な作業を心がけており、その姿勢が発注者や山林所有者から大いに評価されています。今後も、従業員が長く働き続けられる環境を整えながら、地域に貢献していきたいという思いを持っています。

### 七 おわりに

藤本氏の若さと情熱、そして地域貢献への強い意志を感じることでできました。津山普及指導区としても、フォレストフジモト(同)の更なる成長と活躍を期待し、引き続き支援していきたいと考えています。

(津山普及指導区 横山 雄己)



## 普及指導区の情報

「未来に活かす里山づくり」  
「就実・森の学校」

## 【岡山普及指導区】

## 一 はじめに

岡山普及指導区は、岡山県の中南部に位置し、瀬戸内海沿岸から吉備高原に至る地域です。里山地域では多くのボランティア団体により里山林を活用した活動が幅広く行われており、当普及指導区としても森づくり活動に取り組み団体等に対して、積極的に支援をしているところです。

今回はその中で、「就実学園森林研修センター」「就実・森の学校」（以下「当会」という）について紹介します。

## 二 団体概要

当会は、平成22年11月1日に、①学園保有林の整備②防災活動③史跡の保全④教育プログラムの開発の、4つの指針を立て活動を開始しました。

活動場所は、就実学園が岡山市中区今谷地内に保有している約11畝の山林で、竹林整備地区をはじめ、雑木林保護地区、赤松再生地

区、棚田再生地区の4種類の区画に分割し、それぞれで異なる活動を実施しています。

ここでは、おかやま森づくり県民基金事業により支援している、赤松再生地区でのアカマツ林再生活動について紹介します。



植林の様子(H27撮影)

## 三 活動内容

この活動は、かつて今谷地内に広がっていたものの、松くい虫被害により壊滅してしまった、アカマツ林の景観を取り戻すことを目的に始まりました。

平成23年度から松くい虫に強い「桃太郎松」の植林を続け、平成

27年までに計4,000本を、約0.8畝の区画に植栽しました。

平成28年度以降は、継続して毎年6月に1回、11月に2回の計3回、アカマツ林の整備を行うようになりました。

6月は学校のスケジュールの関係で、当会の会員と地域の有志の人達のみで行い、11月の2回は、就実学園の中学生から大学生を対象に、当会がボランティア活動を企画し、実施しています。

作業内容は、アカマツ林の下刈りや枝打ち、除伐などです。



令和5年度活動 枝打ちの様子

活動には毎回80人から120人が参加し、参加者は年々増加傾向

にあります。中には、中学1年から高校3年までの6年間、継続して参加される熱心な生徒もいました。

参加した生徒からは「自然のみんなと作業することが楽しい、次回も参加したい」との声があがっていました。

また、令和3年度には大学課程で、植林したアカマツ林における二酸化炭素吸収量の調査を実施しました。

当会ではこの調査を、SDGsの目標の1つである「気候変動に具体的な対策を」を考えるきっかけとして、今後も継続的に実施していきたい取り組みの1つとしています。

## 四 おわりに

当会は、長年にわたりアカマツ林の整備・保全を実施していますが、その作業にこれまで多くの生徒が参加しており、環境学習としての役割も担っています。

当普及指導区としても、この活動が今後も継続され、多くの生徒に森林への関心を高めてもらえるよう期待します。

（岡山普及指導区 仲田 昂平）



## 林業労働安全の啓発について

### 一 はじめに

林業における労働災害は長期的にみると減少していますが、災害の発生率等、他の産業に比べて高い状態にあります。

県では、林業の職場が安全で快適なものとなることをめざして、関係機関と連携し、労働災害の防止に向けた取組みを推進しています。

今回は、労働災害の発生状況や県における取組みの内容についてお知らせします。

### 二 労働災害の発生状況

本県での令和5年の労働災害は、死傷者数が29人であり、毎年30〜40人程度の発生頻度となっています。そのうち、伐木作業中に発生したもののが全体の約4割と最も多く、また、経験年数で見ると、5年未満の方の割合が全体の約4割を占めており、経験年数の浅い従事者に災害が多くなっています。

全国での令和4年の労働災害は、死亡者数、死傷者数のいずれも前年に比べ減少しており、そのうち死亡災害発生状況は、50歳以上が全体の約8割、作業種別の死亡災害では伐木作業中の災害が全体の約5割という結果となっています。

また、令和5年における林業の死傷年千人率（1年間の労働者千人当たりに発生した死傷者数の割合を示すもの）は、22.8となり、前年と比較し0.7ポイント減少しています。しかし、全産業の年千人率2.4と比較すると、林業の労働災害の発生率は10倍となっており、依然として全産業の

中で最も高い値を示しています。

林野庁では、令和3年6月に閣議決定した「森林・林業基本計画」において、将来の林業従事者の育成・確保に資する労働環境の改善に向けた対応として、今後10年を目途に死傷年千人率を半減させることを目指して労働安全対策を強化することとしています。

### 三 県における取組み

県では、関係機関と連携し、おかやま森づくり県民税を活用した安全装備や労働強度軽減資材の導入支援、巡回指導等を実施し、労働災害防止に取り組んでいます。

安全装備の導入では、チェーンソー作業用防護衣や防振・耐切創手袋のほか、熱中症対策として空調服を導入する事業体も増えています。

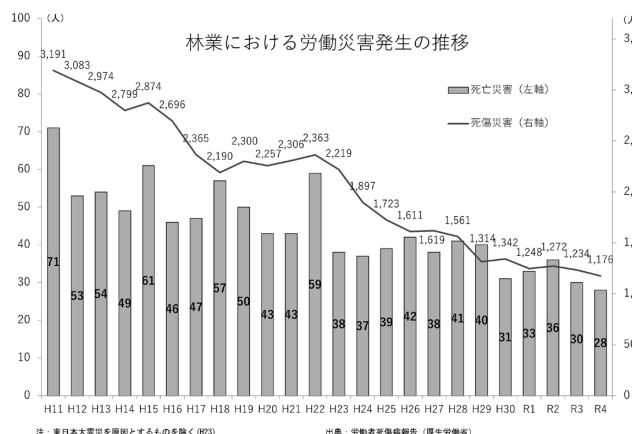


### 四 最後に

林業は多様な自然環境の中で、危険な作業を行う業種です。もしものことを想定し、事前に対策を行っていることが、労働安全の確保につながります。

安全装備の徹底のほか、事前に作業員の体調管理や、作業内容の事前ミーティングを実施し、災害防止の準備を怠りなく行うよう心がけてください。

（林政課 普及指導班）



休業4日以上死傷者数の推移

(単位：人)

| 区分  |     | R1      | R2      | R3      | R4      | R5      |
|-----|-----|---------|---------|---------|---------|---------|
| 全国  | 全産業 | 125,611 | 131,156 | 149,918 | 132,355 | 135,371 |
|     | 千人率 | 2.2     | 2.2     | 2.3     | 2.3     | 2.4     |
|     | 林業  | 1,248   | 1,275   | 1,235   | 1,176   | 1,140   |
|     | 千人率 | 20.8    | 25.4    | 24.7    | 23.5    | 22.8    |
| 岡山県 | 全産業 | 2,121   | 2,337   | 2,501   | 2,179   | 2,344   |
|     | 林業  | 34      | 34      | 38      | 28      | 29      |

資料：死傷者数は「労働者死傷病報告」、千人率は「業種別死傷年千人率」（厚生労働省）

## 令和6年度 林業普及指導員等 中央研修を開催しました

### 一 はじめに

令和6年8月1日(木)に林業普及指導員等中央研修を開催しましたので、その概要を報告します。

### 二 中央研修の主な内容

#### (1) グループ討議

本年度は、討議のテーマを「おやかやま森づくり県民税と森林環境譲与税を活用した森づくりの取組に関する普及指導員としての役割について」として、4グループに分かれて討議を行いました。

テーマとなった「おやかやま森づくり県民税」は平成16年度に導入されて以来、森林の保全に係る広域的な取組を行ってきました。一方、森林環境譲与税は令和元年度以降、国から県及び市町村に譲与され、森林経営管理制度による公的な森林整備や、地域課題を解決するための市町村独自の取組に活用されています。

両税の用途を整理しつつ、相互に連携し、県内の森林保全を効果的に進めていくために普及指導員としてのどのような取組を行って

くべきか、若手からベテランの職員まで自身の経験に基づく意見が交わされ、熱心に取り組む様子が見られました。

発表では、「両税のPR」や「市町村をはじめとした林業関係者との連携」など、各班から多くの取組案が発表されました。



グループ討議の様子

#### (2) 普及指導の取組発表

新見普及指導区から、「「未来へつなぐ新見の林業会議」推進への取組について」と題した発表が行われました。発表では、林業普及指導員として新見市や地域の林業関係者からなる「未来へつなぐ新見の林業会議」に参画し、地域課題の共有や、「新見市森林ビジョン」策定への支援を行ってきたこと等が紹介されました。

(林政課 普及指導班)

## 『針広混交林への誘導に向けて』 「おやかやまの森整備公社の取組」

森林経営管理法に基づく森林経営管理制度は、管理が適切に行われていない森林について経営管理の確保を図るため、市町村が経営管理を行うために必要な権利を取得した上で、自ら経営管理を行う制度ですが、林業経営に適さない森林では、管理コストの低い針広混交林等へ誘導していくこととされています。

林業経営に適さないことにより機能の低下が危惧される針葉樹人工林を針広混交林へ誘導することによって、森林の有する公益的機能の維持増進につながることが期待されますが、指標となるデータなどが十分とは言えない状況です。

そのような中、おやかやまの森整備公社では、平成17年度から、間伐・択伐を繰り返し実施することにより、木材生産を行いながら、広葉樹の侵入を促進させ、人の手を必要としない針広混交林へ誘導する環境保全を重視した森林整備に取り組み、平成20年からは列状間伐実施後の造林地における広葉

樹等の侵入状況調査を行っており、その調査結果を事例集としてとりまとめています。

また、林分密度管理図を用いた林業経営に適さない森林を針広混交林に誘導するために間伐等の計画の立て方や、「林業経営に適した森林」、「管理コストの低い針広混交林等へ誘導していく林業経営に適さない森林」の判定事例をホームページ上で公開しています。



目指すべき針広混交林の姿

これらにより、市町村の森林経営管理制度の推進はもとより、針広混交林に対する関係者の理解が深まり、多様で健全な森林の整備の推進の一助になればと考えています。

(<http://okayananomorisetsibikousha.or.jp/kanriseido/shinkou>)

(林政課 森林経営班)



## 瀬戸内海国立公園指定 90周年を迎えて

### 一 はじめに

瀬戸内海国立公園は、鷲羽山からの展望風景をきっかけに、その多島海景観が日本を代表する自然の風景地と評価され、昭和9年3月に我が国最初の国立公園に指定されました。今年で指定から90周年の節目を迎えたことから、県では様々な記念事業等に取り組んでいます。

### 二 記念事業

#### (1) フォトコンテスト

写真撮影を通じて瀬戸内海の魅力を発見してもらえよう実施（8月31日まで）。入賞作品はジップアリーナ岡山にて展示予定（11月19～28日）

#### (2) スタンプラリー

実際に足を運んでその魅力を体感してもらえよう香川県と連携して実施。スタンプ2個を集めて応募（9月30日まで）

#### (3) 魅力体験ツアー in 笠岡諸島

トレッキング、シーカヤック、白石踊の鑑賞など自然と文化に触れられるツアーを白石島で実施（8月25日）

#### (4) 海ごみ回収コンテスト

環境保全意識の向上と実践行動への動機づけを図るため実施（11月下旬）

### 三 記念式典

10月5日にせとうち児島ホテル（倉敷市）にて瀬戸内海国立公園指定90周年記念式典を開催します。Discover Japan 統括編集長の高橋俊宏氏による基調講演や瀬戸内海を舞台に各地域で活躍する方々をパネリストに迎えてパネルディスカッションを行います。



美しい内海多島海景観  
(笠岡諸島)

### 四 終わりに

瀬戸内海は、古くから文化が栄え、自然と暮らしが一体となった景観が魅力的な場所です。これらを守り、価値を一層高めて次代に引き継ぐため、引き続き、環境保全意識の啓発や魅力の発信に努めます。

(自然環境課)

## 開発地巡視管理システムの紹介

### 一 はじめに

令和3年7月に静岡県熱海市で発生した土石流災害をきっかけに、盛土規制法が施行され、不法な盛土の早期発見や災害の未然防止について国を挙げて取り組んでいるところです。

こうした中、当県においても、開発地の適正な管理指導を行うため、県の担当課が開発地の情報を共有できるよう開発地巡視管理システムを構築し、令和6年度から運用を始めたので、その概要を紹介いたします。

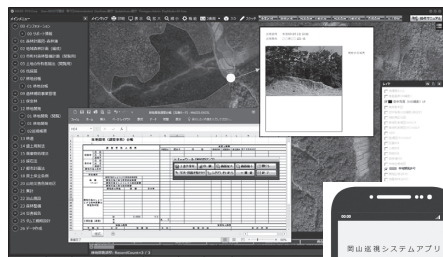
### 二 システムの概要

従来、各法令の担当課は、それぞれに開発現場の巡視・記録を行い、必要があれば関係する課にも情報提供等を行っていましたが、必ずしも一元的に情報を共有する体制にはなっていませんでした。

開発地巡視管理システムを活用することで、専用アプリケーションを搭載したスマートフォンから送信された巡視記録（現場メモ、写真）を、関係課が森林クラウド上で共有できるようになりました。

確認権限を付与された課であれば、リアルタイムで他課の巡視記録を確認できるため、情報の共有漏れも減少し、関係課全体で監視の密度を高めることができます。

治山課では、関係課向けの説明会や森林巡視を行っているフォレストレンジャーを対象にした操作研修会を6月に実施し、システム操作を習得してもらいました。現在では、森林クラウド上へ送信された巡視記録は、関係者間で共有され、現場の状況を確認できるようになっています。



↑ 開発地巡視管理システムのイメージ

専用アプリを搭載した→スマートフォン

### 三 おわりに

本システムの活用により、関係課と密な連携が図られ、適切な開発地の管理指導が促進されるよう期待しています。

(治山課 保全班)

## 特集

「林務の職場」  
令和5年度  
岡山県新規採用職員  
(入庁2年目)

令和5年度に岡山県職員（林業職）に新規採用された6名のうち、3名の方をご紹介します。



美作県民局  
森林企画課  
河合 克俊  
かわい かつとし

## ○経歴と就職のきっかけ

出身地は岡山県岡山市です。大学は鳥取大学の農学部に進学し、高校生の頃から興味のあった林学について学びました。

地元の岡山で、大学で学んだことを生かせる職業に就きたいという思いから岡山県の林業職を志望しました。

## ○担当業務

現在の主な担当は、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟に関する業務です。その他にも保安林の損失補償、フォレストレンジャーに関する業務なども担当しています。

## ○今後の抱負など

携わる業務全てが初めてで、まだ慣れていないことばかりですが、先輩方から熱いご指導をいただき、少しずつ知識を深めているところです。また、現在は事務仕事が多いですが、今後現場に足を運び、事務仕事では得られない経験を積んで、成長の糧にしていきたいと考えています。

岡山県の森林・林業に大きく貢献できるような努めて参りますので、どうぞよろしく願います。



美作県民局  
森林整備課  
江上 裕大  
えがみ ゆうた

## ○経歴と就職のきっかけ

平成16年（2004年）に長崎県諫早市で生まれ、高校卒業まで、長崎県で過ごしてきました。林業については、長崎県立諫早農業高等学校の環境創造科で3年間学びました。

就職するきっかけは、在学3年目の夏に「岡山県職員採用試験」の案内が学校に届いたことが始まりでした。岡山県をイメージすると、「桃太郎伝説」の印象が強く、

岡山県の林業はもちろん、林業以外について調べてみると地元長崎県とは違った風土に魅力を感じ就職を決意しました。

## ○担当業務

主な担当業務は、県営林道事業の設計及び監督、単県事業の小規模林道整備事業（団体営）、地域森林計画（林道計画）です。

## ○今後の抱負など

岡山県の森林や林業などについてまだまだ知らないことばかりで、諸先輩方から、助言やアドバイスを頂きながら日々、知識を蓄え研鑽に励んでいるところです。

まずは、任された現場にしっかりと取り組み、一筋縄ではない林道工事を基本から学び、早く現場対応ができるよう経験や技術を身につけていきたいです。

また、これから多様な業務に携わり、岡山県の林業の発展や地域に貢献できる森林・林業の技術者になれるよう、努めてまいりたいと思いますので、よろしく願います。



美作県民局  
真庭地域森林課  
下村 真生  
しもむら まお

## ○経歴と就職のきっかけ

平成16年に長崎県で生まれ、長崎県の高校で林業を3年間学んだ後に岡山県へ就職しました。

就職するきっかけは、岡山県職員採用試験の案内が学校へ届き、強く先生に薦められたからです。その後、岡山県について調べていくうちに、林業以外にも岡山県の魅力を感じたため、就職を決意しました。

## ○担当業務

主な担当業務は、造林補助事業（単県、非公共事業）や、森林計画に関することを担当しています。

## ○今後の抱負など

岡山県の林業についての知識不足を補えるよう努力する中、色々な方から新しい知識を教えていただき、とても楽しく業務に励むことが出来ています。

また、仕事以外でも、田植え、麻雀など(笑)初めて体験することばかりで岡山県に来て良かったと感じるとともに、沢山の方に感謝しています。

少しでも早く頼られる職員になれるよう頑張りますので、どうぞよろしく願います。





# 岡山県林業研究グループ交換研修大会を開催しました

## 一 はじめに

岡山県林業改良普及協会専門部会では、令和6年7月16日（火）、神郷生涯学習センター（新見市）において「岡山県林業研究グループ交換研修大会」を開催しました。

本大会は、県下の林研グループが一堂に会し、お互いに情報交換することで、林研グループの資質向上を図ることを目的に、毎年開催されています。

今年度は、岡山県内の林研グループにとって初の開催となった、5月の全国林業後継者大会に続く行事となり、県内各地から8グループ22名の参加者が、元気な顔を合わせることができました。

誌面をお借りして、大会内容の一部を紹介させていただきます。

## 二 林研グループの活動発表

恒例となっているグループ活動の発表では、新見市新林業経営者クラブが、「林業研究グループ活動のこれからの役割について」と題し、近年の活動を発表しました。

新見市の林業・木材産業や山林の状況、住宅の建築方法の変化、

これに伴う木材需要の変化や価格の低迷などについて率直な意見を述べられました。

近年の木材価格の長期低迷による生産意欲の減退に会員の高齢化も加わり、地域で森林を守り、育てていく担い手が不足している状況を踏まえ、以下をグループ活動の新たな取組の方向として発表されました。

①「単独での共進会開催から新見地区木材まつりへ積極的に出材することで高品質な素材提供と施業意欲の向上を目指していく」

②「より多くの方に森林・林業について関心を持ってもらうため、担い手育成の一環として、地域の森林・林業環境教育に取り組んで



活動発表の様子  
(新見市新林業経営者クラブ)

いく」

③「企業と協働の森づくり活動のサポートのように、他の林業研究グループや団体と連携し、会員が森林・林業のプロとして活動をサポートしていく」

発表後は、出席グループから、近年の活動状況や近況について報告いただきました。共通の悩みも多く、実際に顔を合わせて話を聞くことで、新たな活動のヒントを見つける機会になったようです。

また、今回会場に展示した林研グループの活動紹介パネル等を見学する参加者も見受けられました。



グループの活動状況および近況報告

## 三 現地視察

休憩、昼食の後、（同）新見バイ

オマスエナジーを視察しました。

新見市内の未利用材の量を基に発電の規模を設定し、令和2年5月に発電を開始するなど、地産地消の電力生産を考えていること、年間約1,580万誌の発電量の9割を売電していること等担当者から説明がありました。その後、敷地を見学し、燃料となる原木置き場では買取価格について、また



新見バイオマスエナジーの  
木質バイオマス発電所  
(現地視察)

燃焼後の木灰置き場ではこれらを利用した土壌改良材について会員が関心を示していました。

## 四 おわりに

本大会は、年に一度会員同士が顔を合わせ、意見を交わし情報収集できる、またとない機会であると、改めて実感しました。今後ともよろしく願います。

(岡山県林業改良普及協会専門部会事務局)

技能講習会の開催（10月～12月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

| 名 称                                                                                                                       | 会場 | 日 程                                  | 申込・問合せ先                                                                                            |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 伐木（特別教育）                                                                                                                  | 津山 | 10月16～18日、12月17～19日                  | 林業・木材製造業<br>労働災害防止協会<br>岡山県支部<br>TEL(086)236-7077                                                  |
|                                                                                                                           | 岡山 | 11月27～29日（受付終了）                      |                                                                                                    |
| ※15名以上の受講者がある場合は、「伐木特別教育」又は「刈払機安全衛生教育」の特別開催（出張）を実施することができます。<br>※「刈払機安全衛生教育」1月分、「伐木等特別教育」1月分・2月分、受講申込受付中です。詳しくはHPをご覧ください。 |    |                                      | <br>林災防岡山県支部 HP |
| 小型移動式クレーン運転                                                                                                               | 岡山 | 11月14～15日                            | 一般社団法人<br>岡山県労働基準協会<br>TEL(086)225-3571                                                            |
|                                                                                                                           | 津山 | 11月14～15日（サテライト）                     |                                                                                                    |
| 玉掛け                                                                                                                       | 岡山 | 10月3～4日、11月7～8日<br>12月5～6日           |                                                                                                    |
|                                                                                                                           | 津山 | 10月23～24日、11月21～22日<br>12月16～17日     |                                                                                                    |
|                                                                                                                           | 新見 | 10月10～11日                            |                                                                                                    |
|                                                                                                                           | 玉野 | 10月23～24日（サテライト）<br>12月16～17日（サテライト） |                                                                                                    |
|                                                                                                                           | 玉野 | 10月23～24日（サテライト）<br>12月16～17日（サテライト） |                                                                                                    |
| フォークリフト運転                                                                                                                 | 岡山 | 10月2日、11月13日<br>12月4日                |                                                                                                    |
|                                                                                                                           | 玉野 | 11月8日（サテライト）                         |                                                                                                    |
|                                                                                                                           | 津山 | 10月1日、11月8日<br>12月3日                 |                                                                                                    |
| 不整地運搬車                                                                                                                    | 赤磐 | 10月2～3日、11月1～2日<br>12月23～24日         | (株)P C T (旧株)PEO建機教習センター)<br>岡山教習所 TEL(086)956-2170                                                |
| はい作業主任者                                                                                                                   | 岡山 | 10月24～25日                            | 陸上貨物運送事業労働災害防止協会<br>岡山県支部 TEL(086)234-1332                                                         |



林業機械のご購入・修理・買い替えのご相談は

# 美津吉商事株式会社

岡山県津山市一方194／TEL 0868-23-2255

《津山・真庭・倉敷・鳥取・倉吉》

<https://www.mitsuyoshi.com>

イワフジ工業    ハスクバーナ・ゼノア  
やまびこジャパン（新ダイワ・共立）  
STIHL    マキタ    PFANNER    他



確かな技術と  
製品で  
作業の安全性を  
サポートします！

お近くのお店へ  
お気軽に  
ご相談ください。

— 安全・人と自然・調和 —

美林を育てる

〔林地除草剤〕ザイトロンフレノック微粒剤・ザイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕ランテクター水和剤・コニファー水和剤

〔幼齡樹保護カバー〕くわんたいⅡ    〔樹皮食い防止〕バークガード・美樹巻夫

〔樹幹注入剤〕マッケンジー・マツガード・他    〔野生草食獣侵入防止〕防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売：日植アグリ株式会社    販売元：大同商事(株)大阪営業所  
TEL.086-292-5525    TEL.06-6384-1288



林 産 物 市 況

●木材（8月7日）

・出荷量 約1,400m<sup>3</sup>

単位：千円／m<sup>3</sup>



| 樹種 | 長さ  | 径級    | 直材   | 小曲り  | 概 況         |
|----|-----|-------|------|------|-------------|
| 杉  | 3 m | 14～16 | 11   | ～    | 杉概況<br>【3m】 |
|    |     | 18～20 | 11   | ～    | 柱 材 横這い     |
|    |     | 22～28 | 11   | ～    | 中目材 横這い     |
|    | 4 m | 18～22 | 10   | —    | 【4m】        |
|    |     | 24～28 | 10.5 | 9.5  | 中目材 横這い     |
|    | 6 m | 16～18 | —    | —    | 元 木 横這い     |
| 檜  | 3 m | 14～16 | 22   | 17.5 | 檜概況<br>【3m】 |
|    |     | 18～20 | 18   | 17.5 | 柱 材 横這い     |
|    |     | 22上   | 20.5 | 19.5 | 中目材 横這い     |
|    | 4 m | 16～18 | 18   | 17   | 元 木 横這い     |
|    |     | 20～22 | 18   | 17   | 【4m】        |
|    |     | 24～28 | 18   | 16   | 柱 材 横這い     |
|    | 6 m | 16    | —    | —    | 中目材 横這い     |
|    |     | 18～20 | —    | —    | 元 木 横這い     |

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値

●製材（8月）

価格：円／m<sup>3</sup>



| 樹種          | 寸 法                         | 等級  | 区分 | 安値～高値              | 備考 |
|-------------|-----------------------------|-----|----|--------------------|----|
| ス ギ         | 正角 3 m 10.5cm角              | 特 等 | K  | ～ 75,000           |    |
|             | 正角 3 m 12cm角                | 特 等 | K  | ～ 70,000           |    |
| ヒノキ         | 正角 3 m 10.5cm角              | 特 等 | K  | 80,000 ～           |    |
|             | 正角 3 m 12cm角                | 特 等 | K  | 70,000 ～           |    |
|             | 正角 4 m 10.5cm角              | 特 等 | K  | 80,000 ～<br>85,000 |    |
|             | 正角 4 m 12cm角                | 特 等 | K  | 75,000～<br>80,000  |    |
| マ ツ         | 平角 4 m<br>10.5～12cm×15～18cm | 一 等 | K  | ～95,000            |    |
| 米マツ         | 正角 3 m、4 m<br>10.5cm角       | 特 等 | G  | 80,000 ～           |    |
|             | 平角 3 m、4 m<br>10.5×15～21cm  | 特 等 | K  | 100,000～           |    |
| 北洋<br>アカマツ  | タルキ 4 m 3.8cm角              | 特 等 | K  | 105,000 ～          |    |
| ホワイト<br>ウッド | 間柱 3 m<br>2.7cm×10.5cm      | 特 等 | K  | 85,000 ～           |    |

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。



現場指導者への研修

【力強い担い手の確保・育成・定着】  
林業の専門的な知識や技術を有する優れた人材を育成するため、高校生等への林業就業体験支援、

「進」の取組について紹介します。

今回は、柱の二つ目である「森林整備を推進するための担い手確保・育成・定着と木材の利用促進」の取組について紹介します。

県では、おかやま森づくり県民税を活用し、3つの柱に使いながら「伐って・使って・植えて・育てる」という林業サイクルの循環のため、森林保全に関する各種事業を行っています。



3つの  
柱について  
②



木造化支援

（林政課 普及指導班）

他にも、県産材サポーターの育成や木造建築に関するセミナーの開催、国内外への県産製材品等の販路拡大及び森林認証取得等の支援に取り組んでいます。

【木材の利用促進】  
県産材の需要拡大を図るため、住宅等への県産森林認証材を用いた乾燥材、JAS製品の利用促進や、公共建築物等の木造化や内外装の整備、木製品の導入を支援しています。

現場指導者への研修会の開催等を行っています。  
また、安全・安心を確保するための装備や、労働強度の低減のための資機材の導入を支援しています。

## 優良種菌で確かな収穫

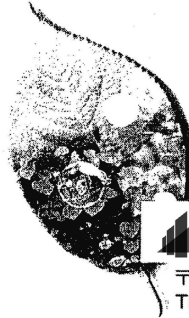
### もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社  
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104  
TEL 岡山(086)805-7033(代)

防腐技術と加工技術で、人と森と未来を繋ぐ



公園修景施設・土木用資材

防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号  
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130



緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号  
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142  
<http://www.yamatoya-net.com>  
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

## おかやまの木で家づくり支援事業

助成金額：最大32万円/戸

助成対象者：

- ① 県内で認証材を4㎡以上使用して新築する住宅(350戸程)
- ② " " " 民間非住宅(50件程)
- ③ " " 1㎡以上使用して改修する住宅(100戸程)

詳細はこちら ↓

<http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>



一般社団法人 岡山県木材組合連合会  
〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 (岡山県木材会館内)  
TEL (086) 231-6677 FAX (086) 232-7549

## 「もしも」に備えて・・・森林保険があります！



加入できる森林は？ 人の手が加わった森林  
加入期間は？ 1年単位で何年でも！  
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約3千9百万円の保険料が支払われました。

## ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年  
保険期間…5年 保険金額…最大188万円  
一括払いだと 25,324円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年  
保険期間…5年 保険金額…最大299万円  
一括払いだと 42,129円 (5年間計)

1ヶ月あたり  
約420円

おむすび  
3個分

1ヶ月あたり  
約700円

ラーメン  
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



森林保険公式キャラクター そよりん たもちい



## ほっけー木になる情報

**Q. 直交集成板（CLT）は、近年では民間も含め、多くの建物で使用されていますが、建築以外では使用していないの？**

**A.** CLTとはCross Laminated Timberの略称で、ひき板（ラミナ）を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料です。厚みのある大きな面材料であり、CLTを活用した建築物の竣工件数は、令和5年度には全国の累計で1,000件を超える見込みです。

一方、令和3年に作成されたCLTの更なる利用拡大を目指した新たなロードマップでは、初めて建築以外の分野での活用として、「土木分野での活用」が明記され、現在、土木分野においても利活用に向けた様々な取組が行われています。

建築資材として使用するCLTは、材料（ひき板）、製造方法、製品に至るまで、品質管理されたもの（JAS製品）になりますが、土木用については、建築物に使用する高品質なCLTが必要でない場合もあるため、JAS製品にならないラミナ

（ノンJAS）を使った、より安価なCLT（以下、土木用CLT）が製造されています。

土木用CLTは、強度のある面材料であるため、未舗装の現場で軟弱地等の対策として敷板に使用される場合が多くなっています。メリットとしては、鉄板に比べ非常に軽いため、一度に大量に運搬でき、輸送コストを低減できます。また、滑りにくく、最終的に廃棄する場合も、燃料等に再利用できます。

当研究室でも、仮設橋や軟弱地盤対策への活用として、ヒノキ小径木から製材した丸身ラミナを外側に使用した3層の土木用CLTを研究しており、今後は建築物以外での利用も増加していくと考えています。



横断工として土木用CLTを利用

（森林研究所 木材加工研究室）



# 中古林業機械 売ります！買います！



**HITACHI Logisnext**

日立建設機械

油圧ショベル

三菱ロジスネクスト

フォークリフト



チェーンソー

各種林業アタッチメント



NANSEI



MOROOKA

各種機械のレンタル・修理も承ります！

## 富士岡山運搬機株式会社



本社 岡山県津山市津山口111-1

TEL : 0868-24-3211

新見 岡山県新見市石蟹267-9

TEL : 0867-76-9077

岡山 岡山県岡山市中区江崎84-1

TEL : 086-277-5100

鳥取 鳥取県鳥取市南栄町33-15

TEL : 0857-50-1985

林  
声

## 森林・林業施設の紹介

## 「新庄村役場新庁舎」

令和5年3月から供用開始した新庄村役場新庁舎を紹介します。新庄村の歴史や文化、宿場町として栄えた新庄宿のイメージをデザインコンセプトとして設計されました。



新庄村役場 新庁舎外観

建築と一体化した照明が特徴的で、真庭地域の曲げ木技術が生かされています。待合ホールには新庄川をイメージした形の照明が施されています。

大ホールは議場を兼ねていますが、議会を開催していない時は、行事や会議に使うことができます。村の形をモチーフとした曲線ラインの木製照明が目を惹きます。

村内の森林から伐り出されたヒ

令和六年九月一日（第四九七号）  
（隔月一日発行）

ノキ大柱3本がシンボルとしてホール壁面を飾っています。庁舎の随所に、村内在住の木工



多目的室 大ホール

作家が手がけた様々なデザインの木製椅子が置かれ、和やかな雰囲気を醸しています。

出納室前の木製椅子  
来客カウンター（奥右）

庁舎近隣にバイオマスボイラーを設置し、今冬から村内の木材資源を庁舎の暖房に活用し、二酸化炭素排出削減につなげることをしています。

（真庭普及指導区 小川 章子）

編集  
発行

〒701-1202 岡山県森林組合連合会内  
岡山市北区櫛津四九一―一  
岡山県林業改良普及協会



## 「緑の募金」 ご協力をお願いします

緑の募金で進めようSDGs（持続可能な開発目標）

## 募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込は  
こちらへ

ゆうちょ銀行 00230-3-144752  
※窓口では手数料がすべて免除となります  
中国銀行岡山駅前支店 普通1852041  
トマト銀行岡山駅前支店 普通1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

# 第36回 岡山県民有林優良材展示コンクール

岡山県森林組合連合会では、優良材の振興を図り国産材の安定供給及び本県林業の発展を期することを目的として『岡山県民有林優良材展示コンクール』を開催いたしますので多数参加(出品)されますようご案内申し上げます。

農林水産祭  
参加行事

日時 令和6年11月8日(金)  
開市 午前9時

■出品受付 令和6年10月1日(火)～10月31日(木)

場所 岡山県森林組合連合会  
津山木材共販所  
津山市一宮 1189 ☎(0868)28-1118

優良材・特殊材の出荷状況など  
HP・インスタにて随時公開中



◎主催 岡山県森林組合連合会

◎後援 岡山県・近畿中国森林管理局(岡山森林管理署)

◎協賛 (一社)岡山県木材組合連合会・農林中央金庫岡山支店・全国森林組合連合会



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。